

新しい公共フォーラム2012 第9回

『これからリスク管理を語ろう』 — 災害情報をシェアするしくみについて考える —

日時： 2012年9月11日（火）18：30～20：45（18：00開場）

会場： 港区エコプラザ（ 詳細: <http://eco-plaza.net/>）

プログラム：

「もし東京電力がICSを採用していたら！」

熊丸由布治氏（在日米陸軍消防本部統合消防次長）

「海上災害にICSを活かす」

萩原貴浩氏（海上災害防止センター防災部長）

終了後、交流会を予定しております。会場受付にてお問い合わせください。

定員： 80名（申し込み先着順） 参加費： 1500円（資料代）

主催： 新しい公共をつくる市民キャビネット・スマートICT部会
(部会長:後藤真太郎 立正大学・地球環境科学部教授)

共催： 港区エコプラザ、立正大学地球環境科学部、
NRDAアジア(Natural Resource Damage Assessment of Asia)

お問い合わせ：フォーラム事務局 TEL:03-3456-1611 FAX:03-6808-3788
E-mail: ccnp.cto@gmail.com <http://shimin-cabinet.net/>

Webフォームよりお申し込みください。 <http://goo.gl/CJYAO>

※ 申込フォームの送信をもって受付完了とさせて頂きます。また、返信は省かせて頂きますのでご了承ください。

熊丸由布治氏 在日米陸軍消防本部統合消防次長

1980年、在日米陸軍消防署入隊。2006年、日本人初の在日米陸軍消防本部統合消防次長に就任。2012年からは一般社団法人災害対応訓練研究所の代表理事も務め、企業などの危機管理アドバイザーとしても活躍が期待される。在日米軍では、ファイアーファイターオブザイヤーを受賞。米陸軍本部より優秀功労民間人賞、全米陸軍より大規模消防署部門年間最優秀消防署賞を受賞するなど活躍。



萩原貴浩氏 独立行政法人海上災害防止センター 防災部長

海上保安庁入庁、海上保安学校教官、海上保安庁警備救難部海上防災課等の勤務を経て、1995年4月から海上災害防止センター防災訓練所教官、主任教官を歴任し、2002年4月から海上災害防止センター防災部勤務。この間、米国テキサス農工大学にて武者修行、「流出油防除コース」「上級船舶火災コース」「上級産業施設火災コース」等を修了。これまで、危険物タンカー乗組員、石油コンビナート企業防災職員を始め、消防庁、海上保安官や外国人政府職員等約1万数千名の研修修了生を送り出すとともに、現場最前線において“汚染・火災原因者の代行”として数多くの流出油防除・消火活動等の指揮を執り、東日本大震災では「コスモ石油ガスタンク火災消火・流出油事故」で現場指揮を執る。年間講演回数三十数回をこなす。

